

豊岡市立小中学校適正規模・適正配置計画（案）説明会
意見・アンケート結果（出石会場）

■ 開催日 2021 年 12 月 1 日（水）19:00～20:00

■ 会 場 市役所出石庁舎 大会議室

■ 出席者 参加者 46 名
 教育委員会事務局 8 名

■ 質疑・意見交換（要旨）

意見・質問	回 答
地域住民との合意形成がなければ無理矢理には進めないということだが、仮に地域で一つにまとまらない場合は、どんどん計画は延びていくということか。	学校運営は、保護者だけでなく地域の協力も得ないと成り立たないため、地域の合意を得る必要があると考えている。ただ、合意が得られないまま年数が経過するとさらに学校の小規模化が進んでいくので、地域での協議に市も適切に関わりながら計画を推進できるようにしていきたい。 学校は、防災面などいろいろな機能があるので、地域の皆さんの不安も当然理解をしている。そのうえで、子どもたちのために保護者の方の意見を優先に進めていきたい。
パブリックコメントを募集しているが、募集対象はだれか。	広く市民の方を対象に募集している。
仕事で家にいないので防災無線は聞かない。パブリックコメントを募集するのはいいことだと思うが、あまり広く知られていない。それぞれの地区でどこかと統合しないといけないという話が出ているくらい。 パブリックコメントの募集が、市のホームページだけとなると、コメントしにくいと思った。募集期間も短く今回の資料などをしっかり確認してもらったうえで、大々的に募集した方が、いい悪いは別にして意見が集まると思う。	ご意見を参考にさせていただく。
統合の合意・承諾はどのようにとるのか。1～2年で協議するとなっているが、地域の役員が変わったり、保護者も子どもが学校を卒業したりする。合意・承諾は、全員が納得してのことか、多数決でいいのか。	地域によって変わってくる。これまで統合の要望を出された地域でも、保護者が100%賛成ということではなかった。これから入学する子どもたちのことを思うとやむを得ないとの思いで、PTA総会で統合を決めて、その結果をもって地

意見・質問	回 答
	区にお願いに行ったというケースがある。地区主導、PTA 主導と様々である。 教育委員会からこういった方法で決めてほしいということではなく、地域にあわせた進め方があると思っている。 校区别説明会では、そういった事例を示しながら校区の中で考えていただく必要があると考えている。
計画案では、小坂小学校と小野小学校は、2025 年度 4 月に統合するという計画か。 今後の協議の進め方では、1～2 年程度で地域で協議して、さらに 1 年程度で統合準備委員会で協議して統合となる。それに当てはめるとあまり余裕がないと感じた。	小野小学校は、2025 年度になると複式学級が生じると見込んでいる。現時点で目標の年度としている。 校区别説明会をなるべく早い段階でさせていただき、地域や保護者から要望あればその都度、情報提供や意見交換の場を持たせていただく。
統合するなら出石地域内で 1 校にという話が前回の説明会でもたくさん出ていた。まずは、小さいところから順番に統合という計画になっているが、出石地域で 1 校については具体的には、何も進んでいないのか。 将来的に 1 校ということを考えているなら、そのことに対する説明会もしてほしい。	出石地域で学校を 1 校にという意見は、地域デザイン懇談会でも同様の意見があることを認識している。仮に出石地域で 1 校となったときに、いつからかや、場所をどこにするかというまちづくりの観点も含めて広く考えていく必要があると思っている。また、すべての地域の方に合意・承諾をいただかないと難しいと思っている。 情報発信や、意見交換の場を持つということは必要と思っており、中長期的にはなるが、いただいた意見は、出石全体として考えていかないといけないと認識している。
統合にあたって、寺坂小学校など人数の少ない学校は協議をしていくということだが、相手方の学校は市と協議するのか。例えば、寺坂という名前を残してほしいという意見もある。こういった形の協議になるのか。	統合が必要な学校と相手方の学校とも、両方に説明会をする必要があると思っている。それぞれにいろいろな意見があると思うので、まず意見を聞かせていただきたいと考えている。
豊岡市としては、最終的に出石地域で 1 校にするという考えなのか。	まずは、クラスに児童が数人だったり、複式学級が生じたりするほどの極小規模校については、教育的課題が多いため、再編が必要としている。 出石地域で 1 校にという意見も多くあり、将来を見据えた検討の必要性があると考えている。

意見・質問	回 答
地域コミュニティで小野小学校と取り組んでいる事業が多く、そういう事業はどうなるのかという不安がある。 地区内で協議をしていくと思うが、統合した学校の保護者に聞くとスポ少などで揉めると聞いた。細々したことも地区内での協議でまとめることになるのか、それとも統合準備委員会でPTAの中身やスポ少、コミュニティ活動などを考えていくのか。	統合準備委員会では、地域コミュニティの会長や地域の区長会長といった方にも入っていただき協議をすることになる。 すでに統合したところや、統合に向けて動いているところは、限られた時間で協議しなければならないこともあり、統合準備委員会が様々な情報交換をする場となっている。 学校が統合してもコミュニティを統合するものではないので、今行っている事業は引き続き行うことで検討していただきたい。例えば、五荘地区と奈佐地区は、学校は統合したがコミュニティは別々である。コミュニティの方に聞くと、奈佐地区が例年行っているウォークラリーに今年は五荘小学校の子どもたちもたくさん来てくれたということもある。奈佐地区の子どもと五荘地区の子どもが仲良くなってそういう事業ができる。そういったコミュニティ同士のつながりも今後期待をしながら、協議していきたい。
適正規模・適正配置の考え方は、自分の実体験から賛成している。そういう環境で自分の子どもも学んでほしいと思う。 将来的には出石で1つの小学校が規模として理想と思うが、子どもたちの環境を考えたときに、複式学級の解消を最優先に早く進めていただきたい。 地域で合意形成をまとめるのは難しいと思うので、ある程度主導権をもって進めていただければと思う。 通学方法や放課後児童クラブがどうなるかという不安はあるが、子どもたちのことを考えて進めていただきたいと思う。	ご意見を踏まえ進めていきたい。

■アンケートでの意見（要約）

- 児童のことを思えば早く進めてください。
- 小坂小学校との統合は、妥当と考える。長期的には出石地域1小学校へ。
- 適正規模・適正配置については賛成。少しでも早くその環境を整えてほしい。今を否定したいのではなく、未来をどうするのかという視点を皆が考えられるようにしてほしい。これから小学校に入る子どもたち・保護者の意見もすくいあげてほしい。
- 豊岡市として出石で1校の具体的な案を作っていないか。
- 前回も出席したが、特に新しい提案もなく、同じ話のくり返しのような気がする。出石で1校にすることを希望する。結局1つになるなら初めからすればいいのではないか。新しい小学校になら不公平感がないと思う。
- 少子化が進んでいるのに、出石中学校では1クラス40人近くという学年もあり矛盾を感じている。また、五荘小学校にはかなり人が集中しているのも適正なのかと感じる。その辺りも検討していただきたい。
- まちづくりの観点で、学校がない地域に魅力があるのか。Uターン、Iターンの選択として外れるのではないか。人数が減るので統合もいたしかたない面もあるが、小規模校が絶対に悪いとは思わない。発表の機会や異年齢交流は確実に多いと思う。
- 地区内でしっかりと意見交換する場があると思った。
- おおむね子どもは対応可能と思う。コミュニティ・地域・保護者等の大人の対応が難しいと思うので成功例等の指導・フォローを十分に計画してほしい。
- 毎回出席しているが、毎回同じような話の気がする。学校の中の様子（地域・保護者の考え方）はよく理解していないが、市側もある程度の方向性も出して、主体的に進めていくことがいいのではないかなと思う。
- 小野小学校については、地域・保護者とも主体的に統合に向けて取り組もうという雰囲気になっていないと思う。教育委員会のバックアップが必要。
- このような計画案に対して、一体どのくらいの出石の人が興味・関心を持っているのか。対象の学校だけが必死になって、統合先の学校は関心を持っているのか。統合は仕方がないと思うが、出石全体で今後の学校の在り方を考えていけないと思う。もう少し皆さんに関心を持ってもらいたい。温度差を感じ、とても残念に思う。そのような状況での統合は、すぐに賛成できない。この問題が出てから、どのような形がいいのか、本当に悩んでいる。
- 大きく丸めた話は理解できたが、具体的なイメージが持てない気がした。具体策については、市教委が主体性を持ち練るべきだと思う。
- 急速な人口減少で子どもがいない。地域が成り立たなくなっていて、課題は複雑、多岐に渡っていて非常に困難に直面している。将来に希望と夢が持てるように検討をお願いしたい。